

安全データシート

1. 製造者情報
会社名 株式会社プレステージ
住所 東京都墨田区東墨田3丁目4番45号
担当部門
電話番号 03-3611-2181
整理番号

製品名 ブレーキダストクリーナー WC-2

2. 危険・有害性の要約

GHS分類

皮膚腐食性・刺激性 区分3
眼に対する重篤な損傷/目刺激性 区分2B
皮膚感作性 区分1
水性環境急性有害性 区分3

上記に記載のない危険有害性項目は、区分外または分類対象外か分類できない。

絵表示



注意喚起語 警告

危険有害性情報 軽度の皮膚刺激
眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
水生生物に有害

注意書き <安全対策>
取扱い後手をよく洗うこと。
必要な時以外は環境への放出を避けること。
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋を着用すること。

<応急措置>

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

皮膚についた場合:多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
 汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。

<保管>
 特になし

<廃棄>
 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門業者に
 委託して廃棄すること。

3.物質の特性 単一・混合物の区別 :混合物

成分1:	チオグリコール酸アンモニウム	11.0%以下
成分2:	ベタイン系両性界面活性剤	3.0%以下
成分3:	プロピレングリコール	1.5%以下
成分4:	キサントガム	0.5%以下
成分5:	キレート剤	0.1%以下
成分6:	防腐剤	0.1%以下
成分7:	香料	0.1%以下
成分8:	水	残量

- 4.応急処置
- 眼に入った場合: ただちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受ける。
 刺激があり放置すれば粘膜が侵されることもある。
- 皮膚についた場合: ただちに多量の水で十分に洗い流す。
- 飲み込んだ場合: 口を水ですすぎ、大量の水を飲ませ速やかに医師の手当てを受ける。
 意識があっても無理に吐かせてはならない。
- 吸引した場合: 微粒子やミストを吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に暖かく安静にし、できれば酸素吸入を行う。直ちに医師の手当てを受ける。

- 5.火災時の処置
- 消火剤: 通常火災と同様、水にて冷却消火を行なう。
- 火災時の特定危険有害性: 現在のところ有用な情報なし
- 消火を行う者の保護: 消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。

- 6.漏出時の措置
- 人体に対する
 注意事項: 関係者以外の立ち入りを禁止にする。
- 環境に対する
 注意事項: 濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。
- 除去方法: 少量の場合 ペーパータオル、ウエス等でふき取り、その後大量の水で洗い流す。
 多量の場合 回収可能であればポリ缶等の空容器に回収後多量の水で洗い流す。

7.取り扱い及び保管上の注意	取り扱い:	<p>1) 眼や皮膚に触れないよう、保護メガネなどの保護具を着用する。また本品は金属に接触すると着色するため、取り扱う容器はガラス、陶器、ポリエチレン等を選ぶこと。</p> <p>2) 取り扱い場所の近くに緊急用の洗眼器や身体洗浄を行うための設備を設ける。</p> <p>3) 取り扱い後は手や顔などをよく洗う。</p>
	保管:	<p>直射日光を避け、冷暗所に密栓して保管する。酸化剤と同一場所で保管しない。保管容器はポリエチレン等の樹脂製またはガラス及び陶器製の容器を使用する。</p>
8.暴露防止及び保護措置	設備対策:	<p>作業場所に緊急時のシャワー及び洗眼の装置を取り付け、その位置を明瞭に表示する。</p>
	管理濃度:	<p>設定されていない。</p>
	許容濃度:	<p>設定されていない。</p>
	保護具:	<p>呼吸用保護具 : 一般マスク 保護手袋 : ゴム製 保護眼鏡 : 保護メガネ 保護衣 : 保護衣、ゴム長靴</p>
	適切な衛生対策:	<p>作業中は飲食、喫煙をしない。</p>
9.物理/化学的性質	外観:	<p>薄白色半透明液体でわずかに特異臭</p>
	PH:	<p>7.0±1.0</p>
	溶解性:	<p>水と任意の割合で溶解</p>
	引火点:	<p>データなし 発火点: データなし</p>
	爆発限界:	<p>データなし 発火性: データなし</p>
	可燃性:	<p>データなし 酸化性: データなし</p>
10.危険性情報 (安定性・反応性)	自己反応性・爆発性:	<p>データなし</p>
	安定性・反応性:	<p>通常の実験条件では安定である。 酸化剤との接触で(高温の場合)発火することもある。</p>
	避けるべき材料:	<p>強酸化剤、酸</p>
11.有害性情報	急性毒性:	<p>現在のところ有用な情報なし</p>
	局所効果:	<p>目に入ると刺激があり、放置すれば粘膜が侵される場合がある。</p>
	感作性:	<p>チオグリコール酸アンモンの約6%液体はコールドパーマメントウェーブ液として使用され、皮膚刺激性としては比較的弱いと考えられるが、皮膚に付着した場合稀に体質により、カブレたりする。</p>
	がん原性:	<p>現在のところ有用な情報なし</p>
	変異原性:	<p>現在のところ有用な情報なし</p>
	その他:	<p>特になし</p>
12.環境影響情報	残留性/分解性:	<p>データなし</p>
	生体蓄積性:	<p>データなし</p>
	生態毒性:	<p>データなし</p>
	魚毒性:	<p>データなし</p>

13.廃棄上の注意 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、若しくは地方公共団体が処理を行っている場合には、そこへ委託して処理する。

14.輸送上の注意 国連分類: 国連の定義による危険物に該当しない。
国内規制: 消防法、毒劇物取締法、航空法、船舶安全法、港則法などの輸送規定には該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件:
①容器が破損しないよう、ていねいに扱う。
②荷崩れや落下事故を起こさないよう、荷造りを十分にした上で積み込む。
③水ぬれを避け、直射日光が当たらないようにする。
④酸化剤との混載をさける。

15.適用法令 廃棄物の処理及び清掃に関する法律: 産業廃棄物規則
容器包装リサイクル法: 適用あり

引用文献 各原料メーカー発行のMSDS

その他の情報

記載内容の取り扱い:

全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により、内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合には、出典等を良く検討されるか試験によって確かめられることをお勧めします。

なお、記載のデータや評価に関してはいかなる保障もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。製品の譲渡時にはMSDSを添付してください。
